（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　きかん車			
○保護者評価実施期間	2026年　1月　13日	～	2026年　1月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	27	（回答者数）	15
○従業者評価実施期間	2026年　2月　2日	～	2026年　2月　14日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　2月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を行なっている。	・職員間でこまめに情報共有できている。 ・こどもの特性に合わせた支援やアセスメントについて、専門職員に相談、検討できている。	・社内外の研修会に積極的に参加する。
2	職員が共感的に支援を行なっている。	・保護者に送迎してもらっているので、療育の前後で直接話をする時間が取れている。 ・保護者がこどもの課題だと感じていることと、本人がやりたいことを、両方取り入れて支援するようにしている。	・現在の取り組みが継続できるよう、新規職員にも対応を周知していく。
3	こどもが安心して通所できている。	・こどもの特性に合わせて、課題や声かけを工夫している。 ・スケジュールを事前に伝えるなど、先の見通しが持てるようにしている。 ・療育終了後、本人のよく出来たところを本人の前で保護者に積極的に伝えるようにしている。	・こどものやりたいことや目標を、より丁寧に聞き取っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、安全計画の策定、および発生を想定した訓練の実施について、保護者に周知されていない。	・マニュアルや計画は策定されており、訓練の予定や報告は、毎月の利用希望表や広報誌で行なっているが、周知に至っていない。 ・受付にマニュアル等を置いているが、手に取ってもらう機会は少ない。	・契約時の確認を徹底する。 ・訓練実施後は、訓練への参加不参加に関係なく、受付時に保護者に対して報告とマニュアル等の確認をしてもらう。
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	・活動中、偶然地域の他のこどもと交流することはあるが、利用者以外の児童との活動を企画として計画していない。 ・普段から学童や児童館を利用している児童も多く、個別療育の希望が多いため。 ・施設として、地域資源と繋がれていない。	・保護者や利用児童にニーズを確認していく。 ・地域資源の開拓に努める。
3	ペアレントトレーニング、保護者会、きょうだい向けのイベントなどの開催がない。	・個別療育の希望が多く、保護者会などの希望が保護者からでにくい。 ・社会と繋がっている家庭が多い。 ・家庭間で、障害の特性や受容に差があるから。	・保護者や家庭のニーズを確認していく。 ・ペアレントトレーニングなどが開催される場合は、積極的に情報提供をしていく。